

ごとう通信

第 225 号

令和元年9月1日

8月、お盆も超えて雨が降るとやはり秋の気配ですね。暑い日もありますが、風は優しくなり、気持ちよく感じる日も増えてきます。来年の8月はオリンピック、パラリンピック。特にオリンピックシーズンの暑さ対策は考えないとだめですね。今年やっていたらどうなったでしょう。選手はともかく、体調崩す観客の人が多い出そいです。

さて、今年のお盆は西日本を台風10号が直撃。JR西日本の鉄道がすべて運休になりました。僕たちはちょうど広島帰省中。まさに帰京予定日



が運休になってしまいました。あらかじめ翌日の新幹線もおさえていたので16日、無事に帰れました。

帰京延期になった日、本当にインターネットのありがたさを感じました。わざわざ駅に行かなくてもネット上で新幹線切符の返金や交換の移動手段がなく、休みなのに外に出ることも難しい状態でもネットショッピング！ 僕たちの場合は1日限定ということだったので大きな問題はありませんでした。何日続くかわからない避難所生活だと本当にストレスが大きいだろうなあと感じました。

今回、実家の周りは雨も風も大したことありませんでしたが、一応「避難準備」という警報が出ていました。状況が悪くなければ避難する

までではないと思うし、悪くなれば避難が難しいかもしれないし。どこで避難を決断するのか、結構難しいなあと思います。

介護食品

以前から介護食品を作っている会社の方たちと定期的にミーティングをしていました。現在の介護食品はとても美味しいのです。でもお弁当とかと違って、その1袋あれば一食まかなえるということではなく、1つの袋は「ごはん」であったり「ハンバーグ」のようなものであったりなのです。じゃあ一食分すべてを介護食品にしようとしたら3〜4袋開けなければならず、コストもかなりかかってしまいます。そういうこと



もあり、なかなか世の中に普及しないという現状です。

ただ、毎日の調理の中で少しだけ手を抜いて介護食品

にするというのでもいいですし、もちろん元気な方がアレンジして食べるということもできるのです。だって、すごい時間をかけて食材を柔らかくしなくても、そもそも介護食品は柔らかいのですから。まさに時短料理です。

そこで今回、介護食品を多くの方に手にとっていただきたいという企画で、チラシにある申し込み先に連絡したら1セットサンプルを無料でお送りするという企画を考えました。

そのまま食べていただいてもいいし、アレンジメニューで利用していただいてもいいでしょう。逆に、僕たちが考えていないような使い方も考えていただくのも大歓迎です。ふるってお申込みください。

歯の神経

以前にも話をしたことがあるのですが、そうかあ、一般の方はそう考えているのかあとと思う事案があります。それは「歯の神経を抜いたのに歯が痛い」と言われることです。僕たちはもちろん何が起きているのかわかってはいるのですが、そうだなあと思います。

神経を抜いたら痛くない…のは事実ですが、正しい表現ではないので

す。正しく書くと、「歯の中にはある神経を抜いたので、歯そのものは痛くない」です。さらに言うと、「歯の根の周囲にも神経はあるので、歯の周囲（歯ぐきなど）の痛みは出る」ということです。ざっくり言うと、「むし歯の痛みは出ないけど、歯ぐきの痛みが出る可能性はある」と言っていていいでしょう。

よくある症状としては、以前神経を抜いて金属の歯が入っているけれど、噛むと痛みが出るようになったというもの。以前神経を抜いて消毒をした根の先が再び悪化し、根の先に炎症が起きてしまうのです。また、急性の歯槽膿漏（のうろう）のようなものもあります。

せっかく治療した歯がまた痛み出すのは残念ですが、起こりえるということだけ覚えておいてくださいね。